

■ 検査

前立腺生検

前立腺に悪性腫瘍が含まれている可能性をみるため、前立腺に直接針を刺して組織を一部採取し、顕微鏡による悪性の有無を調べる病理組織検査を行います。検査方法は、経直腸的(肛門から)に検査用超音波を挿入し、超音波で前立腺を確認しながら12カ所針生検します。(所見によっては追加採取する可能性もあります。)検査に伴う合併症としては下記の通りです。

- 出血(血尿、血便、血精液症) → 血尿は通常、数日で自然消退しますが、なかには2~3週要することもあります。通常、大事に至ることはありません。直腸からの出血は、大部分は指による圧迫で止まりますが、直腸鏡を用いて止血することもあります。血精液症は消失するまで数ヶ月かかることもあります。
- 排尿困難(尿閉) → 膀胱カテーテル留置、導尿を行って対処します。
- 発熱、感染症など(急性前立腺炎、敗血症など) → 37.5℃以上の発熱が出たら、感染症の恐れがありますので、昼夜を問わず、すぐにご連絡下さい。発熱を放置すると重症感染症(敗血症)に移行する危険があります。発症早期に強力な抗生剤を投与すれば、まず大事に至ることはありません。

病理組織検査の結果は2~3週間ほどかかります。今後の方針は、その結果に基づき決定します。

一覧 膀胱全摘:男性 膀胱全摘:女性 前立腺全摘 腹腔鏡手術 経尿道的膀胱腫瘍切除
生体腎移植:ドナー 生体腎移植:レシピエント 前立腺小線源療法 開腹腎摘出 開腹後腹膜リンパ節郭清
シャント造設 経尿道的尿管結石 体外衝撃波結石破砕術 小児 検査